

ざっくり
黙示録

⑪

黙示録19～20章

裁き主イエス

再臨 千年王国 白い御座の裁き

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 主イエスの再臨 19章

II. 千年王国

白い御座の裁き 20章

III. まとめと適用

神の裁きが信者の希望



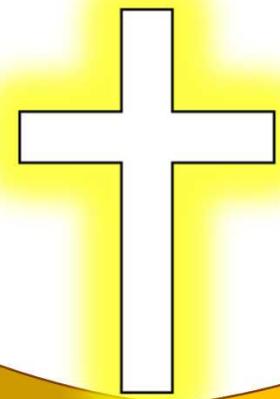
0. 終末のおさらい



【聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある】

天地創造
人類の墮罪

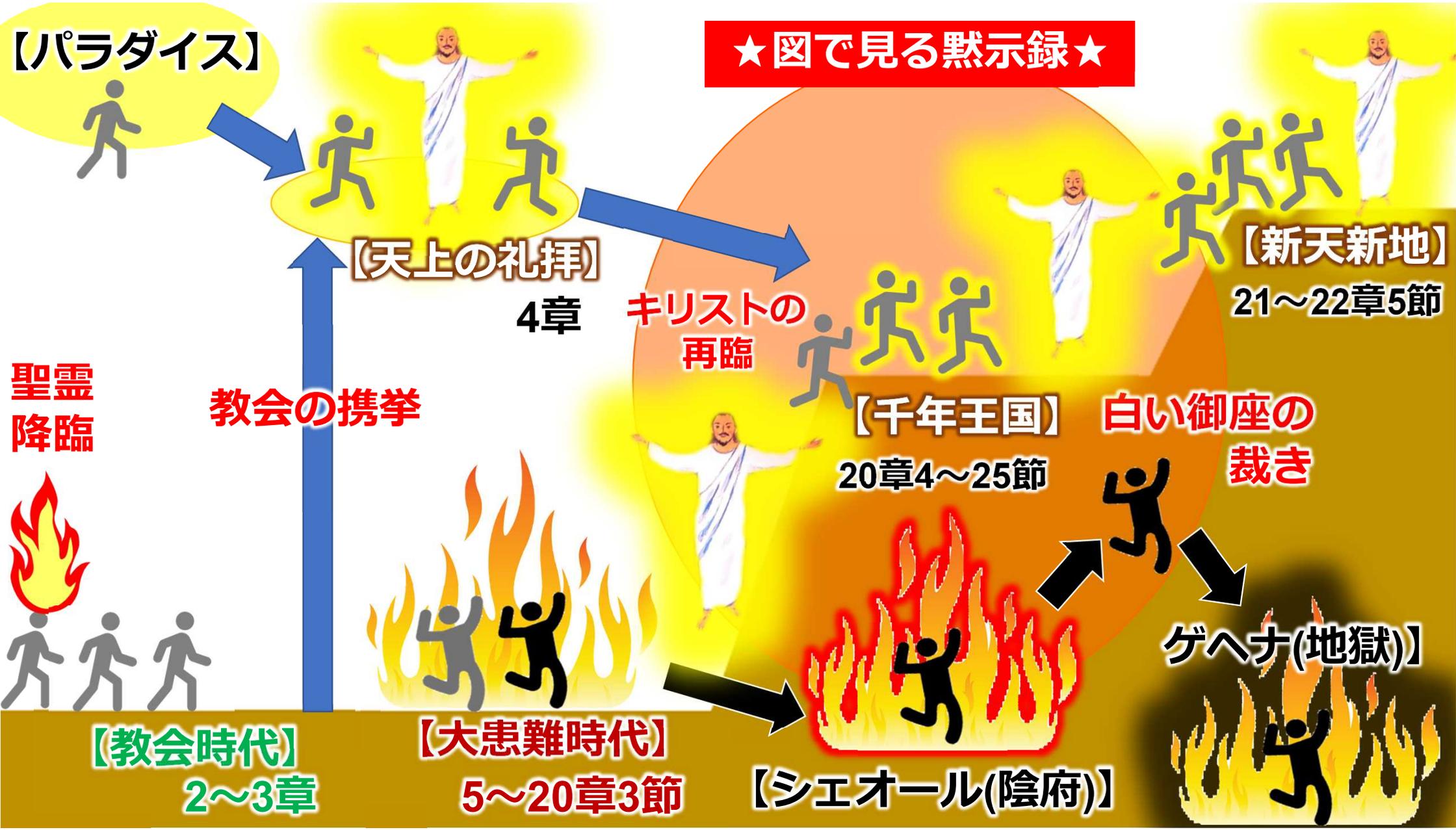
キリストの
十字架の
死と復活



今の時代(教会時代)

～ゴールは、世界の回復。理想世界の実現～

★図で見る黙示録★



黙示録アウトライン

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携拳～天上の礼拝	4～5章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	6章～20章3節
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章4節～25節
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21章1節～22章5節
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22章6～21節

【千年王国・二段階の裁きに挟まれた時代】

①再臨の主イエスの裁き

➡地上の悪は一掃され、よみに落とされる。

■千年王国 ……真の王イエスによる千年の統治

②白い御座の裁き

➡悪と不信者への最終的な裁き。

➡最大の敵、「死(神との断絶)」そのものの滅び。

※千年王国の記述はほんの少し。

黙示録が強調しているのは、**裁き主イエス**



裁き主イエスこそ
この時代の中心



I. 再臨

默示錄19章

【大バビロンの滅び】 黙19:1~3

その後、私は、大群衆の大きな声のようなものが、天でこう言うのを聞いた。「ハレルヤ。救いと栄光と力は私たちの神のもの。

神のさばきは真実で正しいからである。神は、淫行で地を腐敗させた大淫婦*をさばき、ご自分のしもべたちの血の報復を彼女にされた。」

もう一度、彼らは言った。「ハレルヤ。彼女が焼かれる煙は、世々限りなく立ち上る。」

* 反キリストの都、**大バビロン**のこと

■ **ハレルヤ**(主を讃えよ) ...新約では19章の5回だけ



【続けられている天上の礼拝】 黙19:4～5

すると、二十四人の長老たち*と四つの生き物*はひれ伏して、御座に着いておられる神を礼拝して言った。「アーメン。**ハレルヤ。**」

また、御座*から声が出て、こう言った。「神のすべてのしもべたちよ、神を恐れる者たちよ、小さい者も大きい者も私たちの神を賛美せよ。」

* 天に挙げられた**教会の代表**である長老たち。

* 天上の礼拝を導く天使・**セラフィム**。

* **栄光の主イエスの御座からの声**

➡主の一番身近で使える天使(ケルビム)の声？



【やってきた婚礼の時】 黙19:6～8

また私は、大群衆*の声のような、大水のとどろきの
のような、激しい雷鳴のようなものがこう言うのを
聞いた。「**ハレルヤ**。私たちの神である主、全能者
が王とられました。

私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の
婚礼の時*が来て、花嫁は用意ができたのだから。
花嫁は、輝くきよい亜麻布をまとうことが許された。
その亜麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。」

* **大患難時代の殉教者たち**？ (黙9:9～14)

* 「**花婿・主イエス**」と「**花嫁・教会時代の信者**」の婚礼



【主の結婚式の招待客たち】 黙19:9~10

御使いは私に、「子羊の婚宴*に招かれている者たちは幸いだ、と書き記しなさい」と言い、また「これらは神の真実なことばである」と言った。私は御使いの足もとにひれ伏して、礼拝しようとした。すると、御使いは私に言った。

「いけません。* 私はあなたや、イエスの証しを堅く保っている、あなたの兄弟たちと同じしもべです。神を礼拝しなさい。イエスの証しは預言の霊なのです。」

* 婚宴は、千年王国の設立前、地上で行われる。

➡招待客は、**旧約時代と大患難時代の信者。**

* 天使礼拝は、偶像礼拝。厳禁!!



【ユダヤ式婚礼と主イエスとの結婚】

① 花婿の父が式を準備、花嫁の父に花嫁料を支払う。



② 婚約。

最低1年は準備期間。

福音を信じて救われる

婚約期間 → 教会時代



③ 花婿が花嫁を**迎え**に行く。

教会が携挙される



④ 花嫁を新居に迎え入れ、**婚礼(結婚式)**が行われる。

教会の婚礼



⑤ 結婚式の後、**婚宴**が開かれる。

教会の婚宴

【パラダイス】



キリストの御座の裁き
(報償の確定)

キリストと教会の婚礼



キリストと教会の婚宴

聖霊降臨



教会の携挙



【教会時代】
2~3章

【大患難時代】
5~20章3節

【再臨の主イエス】 黙19:11~13

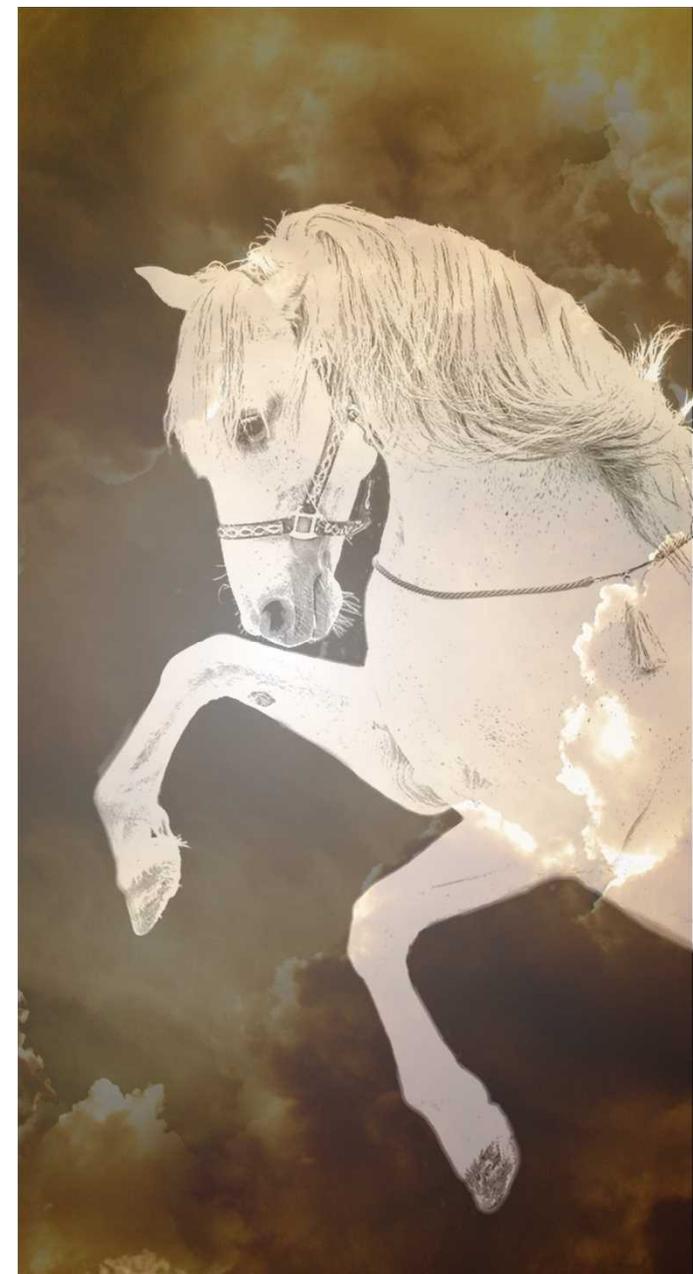
また私は、天が開かれているのを見た。すると見よ、白い馬がいた。それに乗っている方は「**確かに真実な方**」と呼ばれ、義をもってさばき、戦いをされる。

その目は燃える炎のようであり、その頭には多くの王冠があり、ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。

その方は血に染まった衣をまとい、その名は「**神のことば**」と呼ばれていた。

* 私たちが知っているのは、主の一面だけ!!

■ **再臨の主イエス**は、**裁き主**として来られる。



【厳正な裁き主イエス】 黙19:14~16

天の軍勢は白くきよい亜麻布を着て、白い馬に乗って彼に従っていた。

この方の口からは、諸国の民を打つために鋭い剣*が出ていた。鉄の杖で彼らを牧するのは、この方である。また、全能者なる神の激しい憤りのぶどうの踏み場*を踏まれるのは、この方である。

その衣と、もものところには、「王の王、主の主」という名が記されていた。

* 主イエスは、御言葉によって敵を打つ。

* 血が飛び散る裁きは、ぶどう踏みのよう!!



【鳥たちの大宴会】 黙19:17~19

また私は、一人の御使いが太陽の中に立っているのを見た。彼は大声で叫び、中天を飛んでいるすべての鳥たちに言った。

「さあ、神の大宴会に集まれ。王たちの肉、千人隊長の肉、力ある者たちの肉、馬とそれに乗っている者たちの肉、すべての自由人と奴隷たち、また小さい者や大きい者たちの肉を食べよ。」

また私は、獣と地の王たちとその軍勢が集まって、馬に乗る方とその軍勢に戦い*を挑むのを見た。

* 大患難時代の最終戦争・ハルマゲドン



【反キリストへの裁き】 黙19:20～21

しかし、獣*は捕らえられた。また、獣の前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受けた者たちと、獣の像を拝む者たちを惑わした偽預言者も、獣とともに捕らえられた。この両者は生きたまま、硫黄の燃える火の池に投げ込まれた。残りの者たちは、馬に乗っている方の口から出る剣によって殺され、すべての鳥が彼らの肉を飽きるほど食べた。

* 獣は、**反キリスト**

■ **反キリスト**と**偽預言者**は、生きたまま陰府に落とされる。➡**厳しい裁き**



★図で見る黙示録★

【パラダイス】



【天上の礼拝】

4章

キリストの再臨

教会の携挙

聖霊降臨



【教会時代】
2～3章

【大患難時代】
5～20章3節



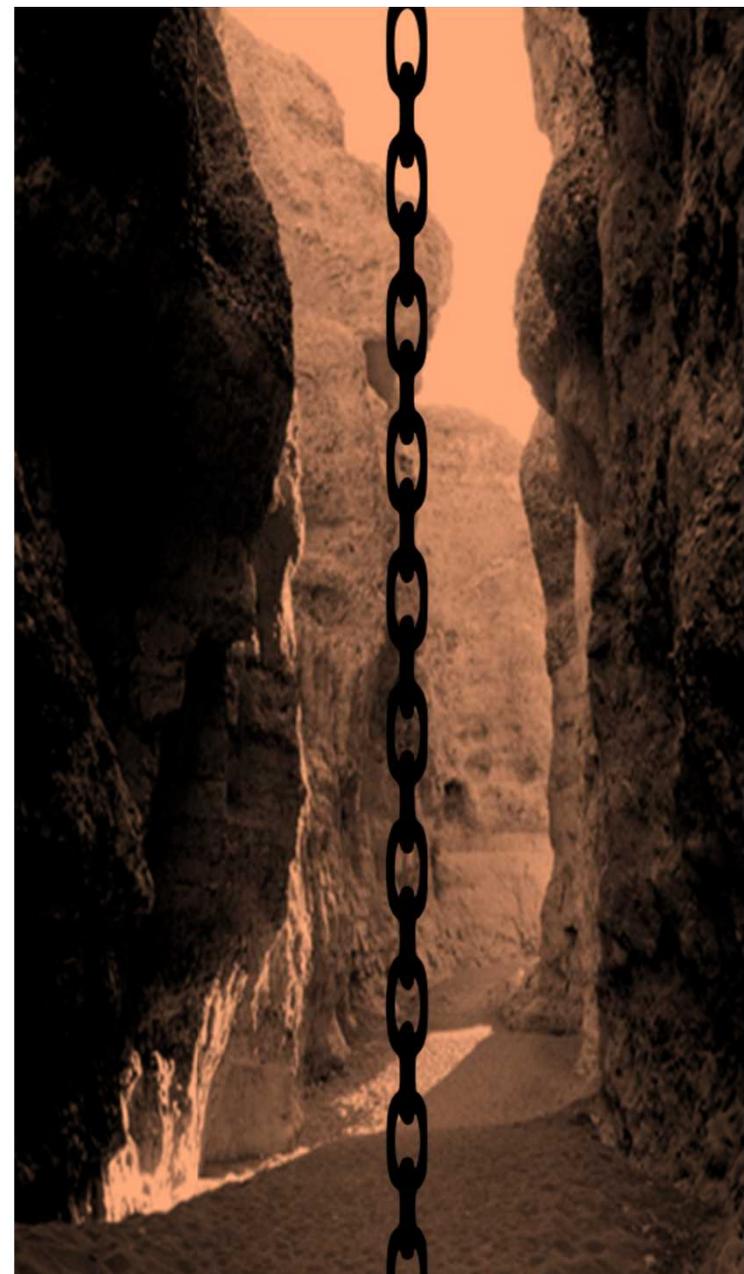
Ⅱ. 千年王国 白い御座の裁き

黙示録20章

【閉じ込められるサタン】 黙20:1～3

また私は、御使いが底知れぬ所の鍵と大きな鎖を手にして、天から下って来るのを見た。彼は、**竜**、すなわち、**悪魔**であり**サタン**である**古い蛇**を捕らえて、これを千年の間縛り、千年が終わるまで、これ以上諸国の民を惑わすことのないように、底知れぬ所に投げ込んで鍵をかけ、その上に封印をした。その後、竜はしばらくの間、解き放たれることになる。

- 陰府の底に落とされた**サタン**は、千年後、最終的な裁きのために引き出される。



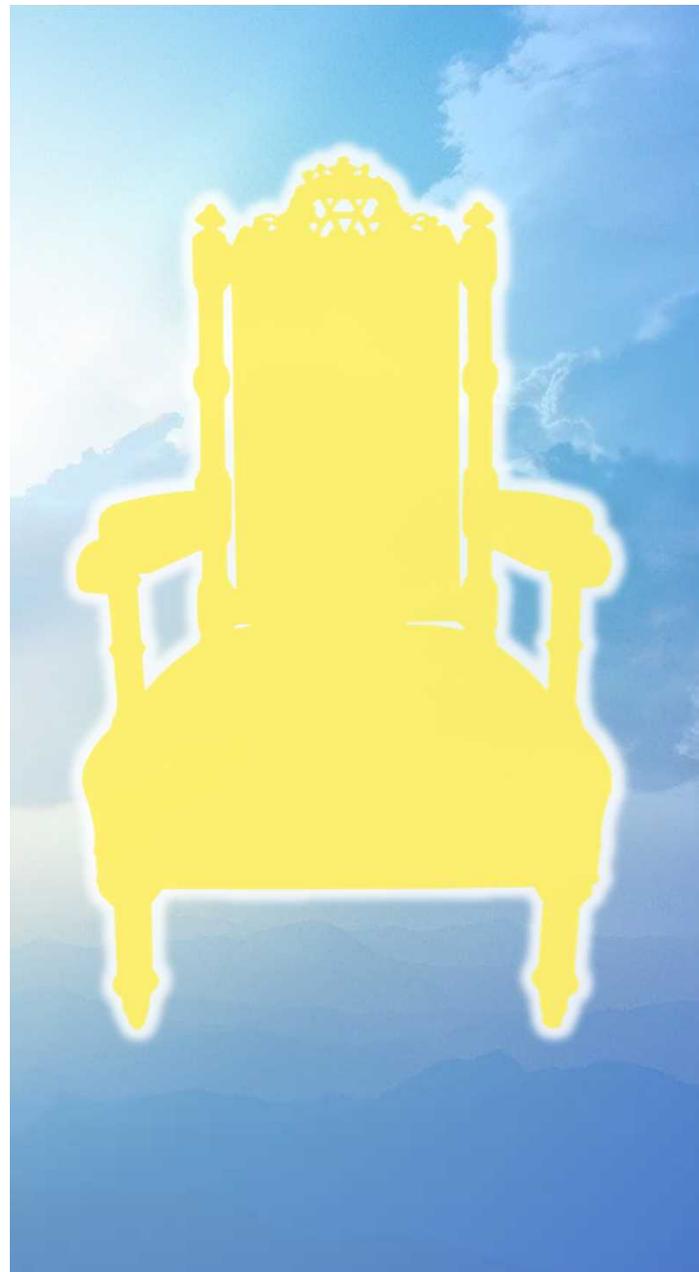
【第一の復活】 黙20:4

また私は多くの座を見た。それらの上に座っている者たち*がいて、彼らにはさばきを行う権威が与えられた。また私は、イエスの証しと神のことばのゆえに首をはねられた人々*のたましいを見た。彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。彼らは生き返って、キリストとともに千年の間、王として治めた。

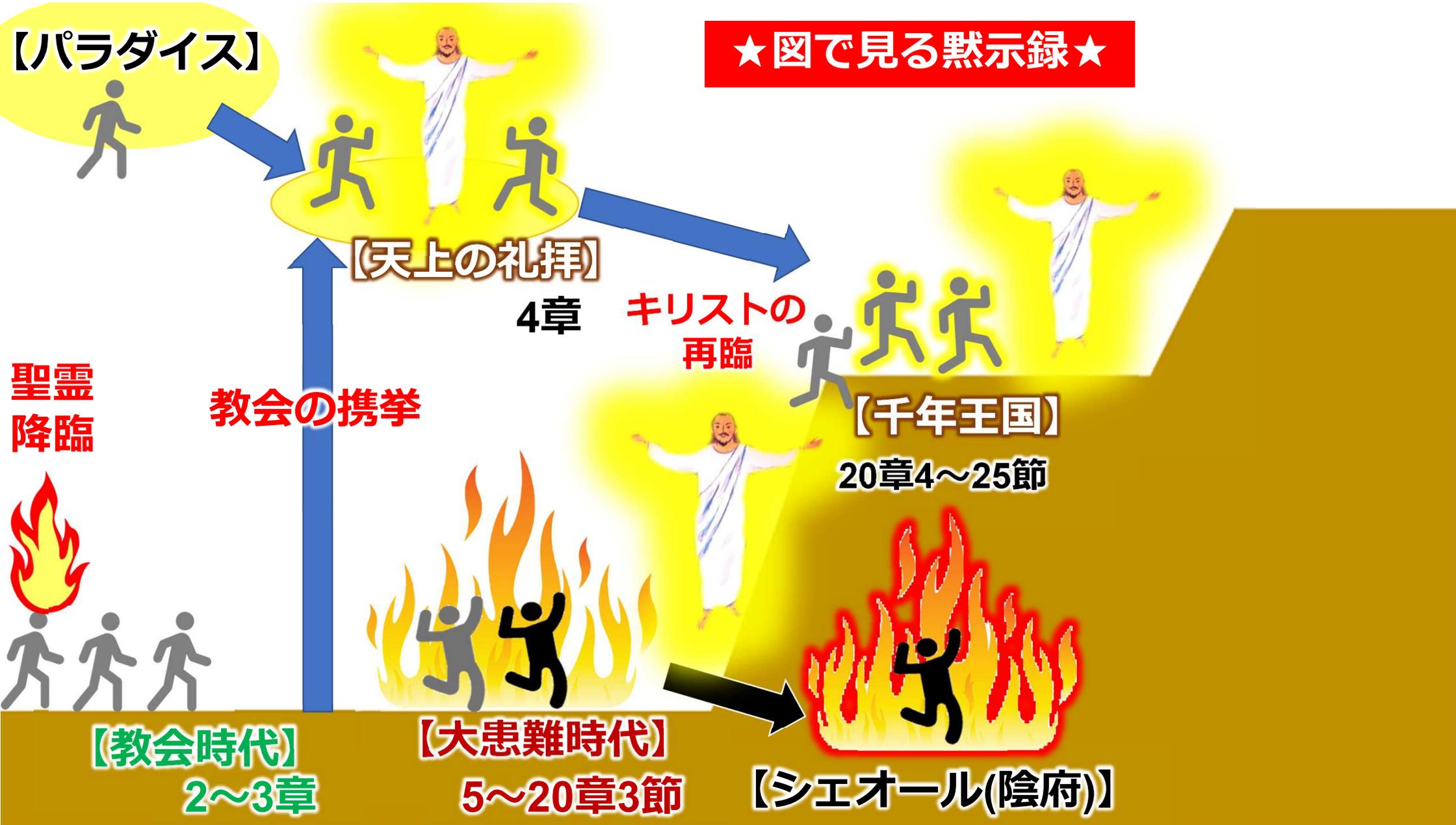
* すべての信者

* 大患難時代の殉教者

■ 主を信じて死んだすべての者は復活し、キリストと共に千年王国を統治する。



★図で見る黙示録★



【パラダイス】



【天上の礼拝】

4章

キリストの再臨



【千年王国】

20章4~25節



聖霊降臨

教会の携挙



【教会時代】

2~3章

【大患難時代】

5~20章3節

【シエオール(陰府)】



【信者の復活と永遠の命】 黙20:5～6

残りの死者は、千年が終わるまでは生き返らな
かった。これが第一の復活*である。

この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる
者である。この人々に対して、第二の死*は何の力
も持っていない。彼らは神とキリストの祭司とな
り、キリストとともに千年の間、王として治める。

* 第一の復活 ...信者の復活

* 第二の死 ...不信者の最終的な裁き

■ 大患難時代を生き延び、今の体のまま千年王国
に入る人々の子孫が、治める対象。



【信者と不信者の復活と死】

① 第一の死 ...肉体の死。  信者  不信者

② 第一の復活 ...携挙の後の**信者**の復活。  信者

③ 第二の復活 ...裁きのための**不信者**の復活。

④ 第二の死 ...**不信者**の最終的な裁き。



【最後の反逆】 黙20:7～8

しかし、千年が終わると、**サタン**はその牢から解き放たれ、地の四方にいる諸国の民を、すなわちゴグとマゴグ*を惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海の砂のようである。

* 肉体をもって生き延びた人々の子孫の中に、罪に陥る人々がいる。

■ 解き放たれた**サタン**は、人々を惑わし、神に向かって最後の反乱を起こす。



【永遠の滅び】 黙20:9~10

彼らは地の広いところの上って行き、聖徒たちの陣営と、愛された都を包囲した。すると天から火が下って来て、彼らを焼き尽くした。彼らを惑わした**悪魔**は火と硫黄の池*に投げ込まれた。そこには**獣**も**偽預言者**もいる。彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しみを受ける。

*ゲヘナ ...最終的な裁きの。

- **サタンの偽の三位一体**は永遠に滅ぼされる。
- 最終的には、**死**そのものが滅ぼされる。



【白い御座の裁き】 黙20:11

また私は、大きな白い御座と、そこに着いておられる方を見た。地と天はその御前から逃げ去り、跡形もなくなった。

また私は、死んだ人々が大きい者も小さい者も御座の前に立っているのを見た。数々の書物が開かれた。書物がもう一つ開かれたが、それは**いのちの書**であった。死んだ者たちは、これらの書物に書かれていることにしたが、自分の行いに応じてさばかれた。

* **すべての人の名が記された書**

➡ **不信者の名の抹消が確認される。**



【ゲヘナ・第二の死】 黙20:13~15

海はその中にいる死者を出した。**死**とよみ*も、その中にいる死者を出した。彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。

それから、**死**とよみ*は火の池に投げ込まれた。これが、すなわち火の池が、第二の死である。いのちの書に記されていない者*はみな、火の池に投げ込まれた。

* **よみ** ...ハデス。シェオール。陰府。

* **不信者** ...最後まで主を信じなかった人々。

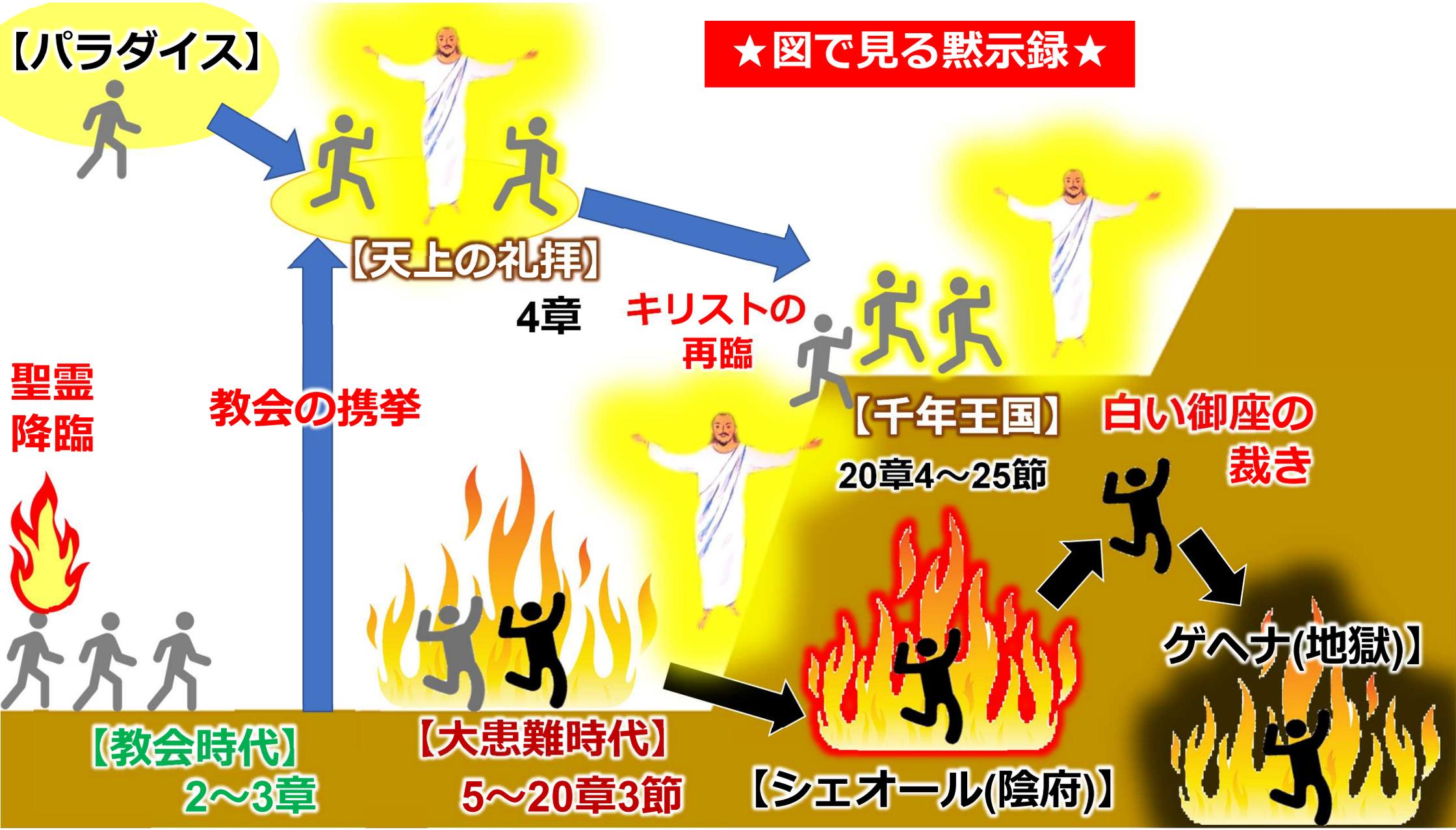
■ 最終的に、死とよみが滅ぼされる。

➡ 最大の敵は、**死**。(=神との断絶)

■ 新天新地に、神と断然した者は一人もいない!!



★図で見る黙示録★





Ⅲ. まとめと適用

神の裁きが信者の希望

【死後の世界】

～イエスの復活前～

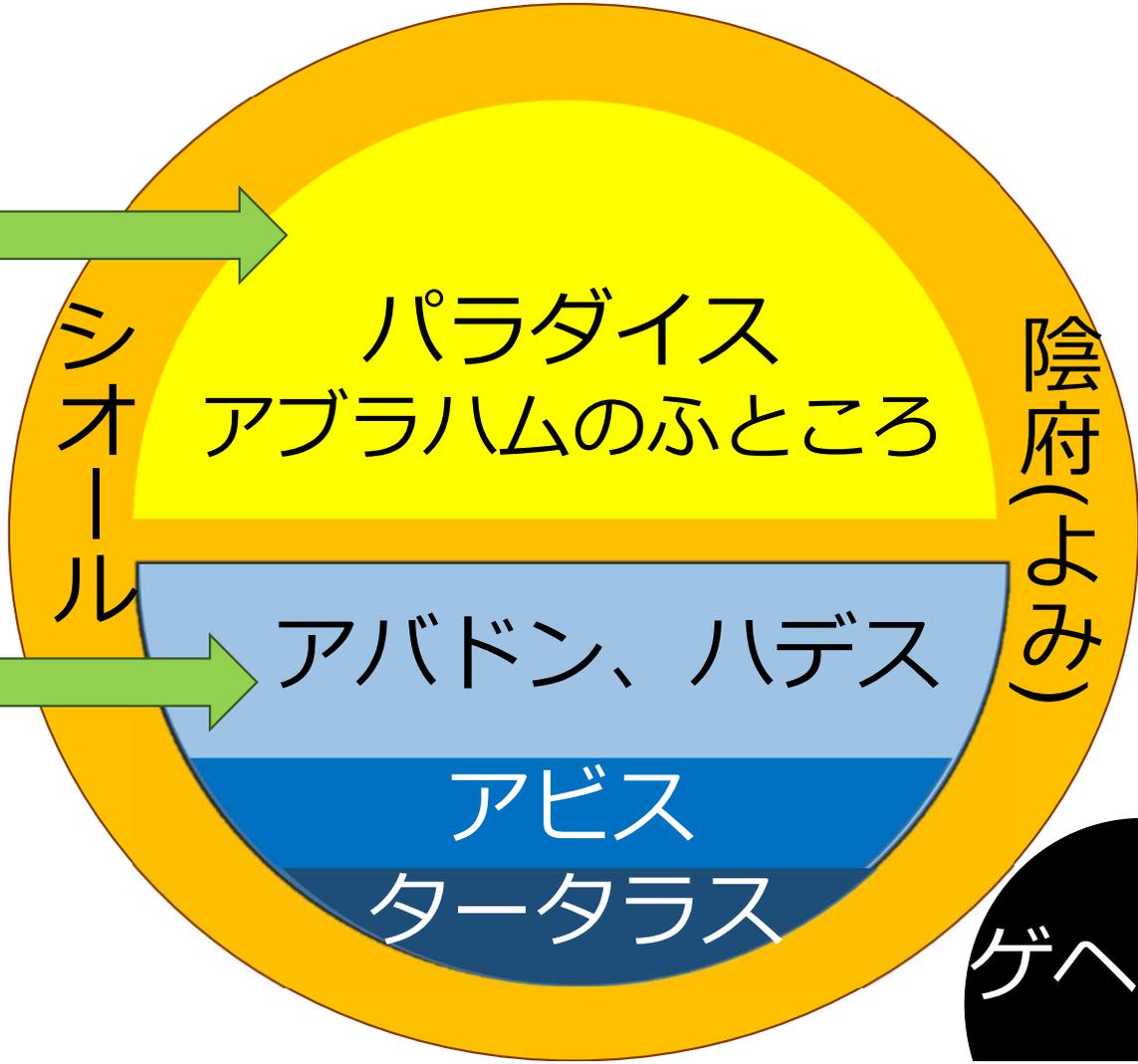
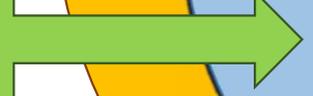


天

神を信じた人



神様信じなかった人



シ
オ
ー
ル

パラダイス
アブラハムのふところ

アバドン、ハデス

アビス
タータラス

陰府(よみ)

ゲヘナ

【死後の世界】

～イエスの復活後・今～

神様を信じた人

パラダイス
アブラハムのふところ

天

神様を信じなかった人

シオール、陰府(よみ)

アバドン、ハデス

アビス

タータラス

ゲヘナ

【死後の世界】

～最後の裁きの後～

神様を信じた人

新天新地
天のエルサレム

神様を信じなかった人

ゲヘナ
火の池

【主イエスの二段階の裁きと千年王国】

①再臨の主イエスの裁き

➡反キリスト、偽預言者、サタン、不信者は、よみへ。

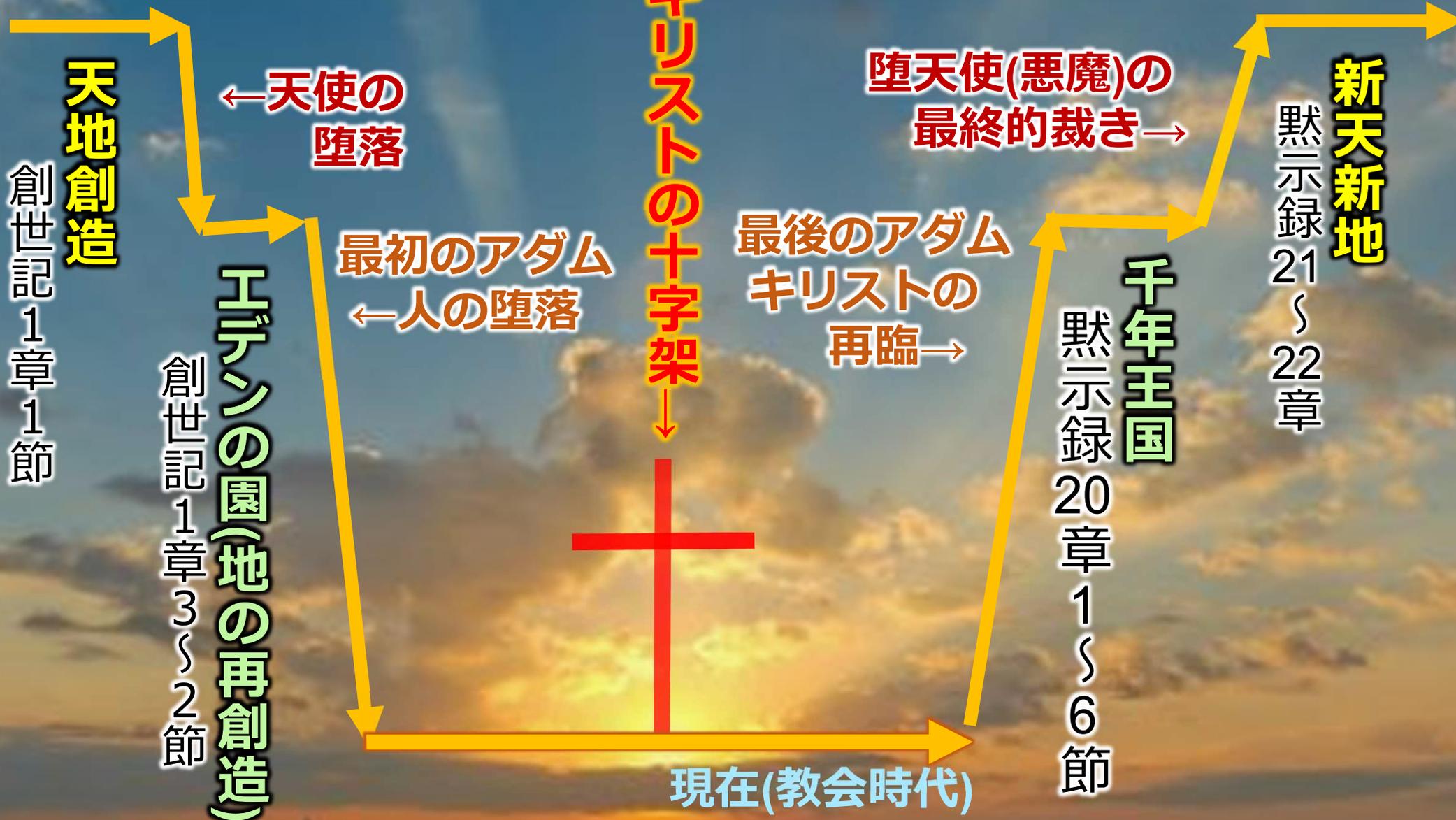
■千年王国 ……真の主イエスによる千年の統治

➡アダムの罪によって壊れたエデンの園の、完全で十分な回復。

②白い御座の裁き

➡悪と不信者への最終的な裁き。

➡最大の敵である、「死(神との断絶)」そのものの滅び。



天地創造

創世記1章1節

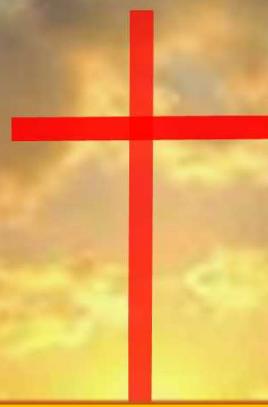
←**天使の墮落**

エデンの園(地の再創造)

創世記1章3〜2節

最初のアダム
←**人の墮落**

キリストの十字架



現在(教会時代)

最後のアダム
キリストの再臨→

墮天使(悪魔)の最終的裁き→

千年王国

黙示録20章1〜6節

新天新地

黙示録21〜22章

【罪と裁き・墮落と回復】

- 罪によって墮落した世界を、**回復**させるのが、**神の裁き**。
- 人の罪によって壊れたエデンの園は、**再臨の主イエスの裁き**により回復され、千年の間、保たれる。
- 墮天使の罪によって壊れた最初の世界は、**白い御座の裁き**により、完全に回復され、死も永遠に滅ぼされる。
- 世界の救い、世界の回復は、**神の裁き**によって成し遂げられる。
 - ➡ 正統な裁き主イエスが、すべての悪と死を裁き、王の王として、永遠の王国を建設される。

【神の裁きの原則を押さえよう】

- 神は正しく、きよい方であり、どんな些細な悪も見逃されない。
- 神は憐れみ深く、御子の十字架によって、人の罪をあがなわれた。
信じる者に、永遠の救いが約束されている。
- 復活し天に上られた主イエスは、**裁き主**として再臨される。
再臨の主イエスの裁きにより、エデンの園が回復される。
主イエスの白い御座の裁きにより、新天新地が建設される。
- 神の裁きは、主を信じる者には希望。喜びをもたらすもの。
神の裁きが喜びとなる世界へ、人々を招き入れていこう!!

「天のお父さま。わたしは、御子イエス・キリストが、
①わたしの罪を贖(あがな)うために十字架で死に、
②墓に葬(ほうむ)られ、
③三日目に復活したこと、を信じます。

主の裁きは、信じるすべての者にとっての希望です。
主イエスは来られ、永遠の喜びに招き入れてくださいます。
再臨(さいりん)の主イエスを信じる信仰を与えてください。
救いの鍵(カギ)である福音を、人々に届ける者として、
ここから遣(つか)わしてください。
主イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」